

生活単元学習指導案

令和2年12月18日金曜日2校時 場所：3年3組教室

高等部 3年3組 男子3人

指導者 CT：大城盛恒 ST：池原豊博 榮野川択也

【育てたい資質・能力】

自分に自信を持って、人と関わる力

- ・自分に自信を持って：自分の良さや役割を理解し、間違いや他人との違いをおそれず
- ・人と関わる力：多様な集団の中で積極的に考えや気持ちを伝えたり、活動したりする力

【育っている資質・能力】

必要に応じて、人と関わる力

- ・必要に応じて：身辺処理といった生活上支援を要する場合において
- ・人と関わる力：不快感の表出や協力動作を行うなどの力

1. 単元名「自分らしさを活動で発揮する」

2. 単元目標

- (1) 自分のできることや長所を認識し、自信を持って発揮することができる。
- (2) 自分のできることや長所を活かして、より多くの人と関わろうとする態度を身に付ける。

3. 単元の観点別目標（評価規準）

(1) 【知・技】

主に自分のことに関して、「成長」や「いいところ」、「人と関わること」について、感じたり理解したりすることができる。

(2) 【思・判・表】

他者の働きかけや場の雰囲気を手がかりとして、考え判断して、自分の良さを活動や意思疎通に活用することができる。

(3) 【主体】

- ・自分の良さを活用し他者に賞賛された経験から、良さを繰り返し活用したり、新たな方法を見いだしたりすることができる。
- ・自分の良さを活用して、他者に働きかけることができる。

4. 学習計画と評価計画

次	時	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
一	1	得意なことについて知る。やりたい活動を決める。	○	○	
	2	役割分担とアロマキャンドル作り。	○	○	
	3	作ったアロマキャンドルを使って、お楽しみ会をする。		○	○
	4	アロマキャンドル作りで自分がやったことを映像で振り返る。		○	○
二	1	活動の映像を他者に観てもらい、褒められる。	○		○
	2	活動を振り返り、それを今後も活かすことを確認する。	○		○

5. 単元の個別目標

氏名 \ 観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A	自分のよさを他者から伝えられると、返事をしたり、そのよさを発揮したりできる。	他者の働きかけや活動の意味を把握した上で、他者に促されつつも自分ができる行動を選択し実行できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・場の雰囲気や活動の内容を踏まえて、自ら適した行動をとる。 ・他者と協働しようという行動をとる。
B	自分の動きや活動に対して、教師の言葉かけを聞いて、自分の気持ちを確認できる。	他者の働きかけや場の雰囲気を感じ、受け入れて活動を共にしたり、拒否し拒む行動ができる。	反射的な行動で自分の気持ちを表現し、もっとやってほしいと要求ができる。
C	自分が「できること」、「やりたいこと」を考えることができる。	自分の良さを理解し、それを発揮する方法を考え行動に移すことができる。	「できること」を理解し、活動の幅を広げる工夫ができる。

6. 本時の学習（一の2時）

(1) 本時の目標

- ①自分のできることを理解し、実行できる。
- ②アロマキャンドル作りでできることを考え、活用しようとすることができる。

(2) 本時の個別目標

氏名 \ 観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A	『材料や道具を掴むこと、混ぜること、見ること、受け取ったり手渡したりすること』を自分ができるということを理解し、促されると実行できる。	道具や状況、言葉かけから何をすべきか考え、行動を選択しようとするすることができる。考えたことを実行できる。	
B	ボタンを押すことや材料を振って混ぜることを教師の言葉かけを聞いて継続できる。	道具を手渡されたり、他者からの言葉かけでできることを考え、行動に移すことができる。	
C	アロマキャンドル作りの指示者として、材料や作業工程を理解し担当者に伝えることができる。	作業の様子を見て、材料を混ぜ合わせる等を判断し、各担当者へ指示を出すことができる。	

(3) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	教師の指導及び支援及び配慮事項	備考
導入 10分	体調・姿勢のチェック 始めの号令 前時までの内容確認 本時のめあての確認	知識・技能	・生徒が話を聞きやすい体勢を整える。 ・生徒の反応を確認する。	・車いすに乗る。
展開 30分	〔アロマキャンドル作り〕 材料の確認 ・ミントから作ったオイル ・ロウ、漏斗、鍋など 役割分担の確認 作成 ・色を選ぶ。 ・ロウを握って砕く。 ・ロウを握って鍋の上で離して入れる。 ・溶ける様子の観察 ・クレヨンを入れて色つけ ・容器に入れる様子の観察 ・容器にアロマオイルを入れる。 ・できあがりの観察	知識・技能 思・判・表 知識・技能 思・判・表	〔全体を通して生徒の反応を丁寧待つ〕 ・素材の感触を手の平で感じられるようにする。 ・返事をするよう促す。 ・「選ぶ」ということの意味。 ・道具や材料を「見る（注視）」「選ぶ」ということを促す。 ・「握る」「離す」「においを嗅ぐ」などの言葉の意味。 ・手添えなどの支援を徐々に減らして、自分で動きを調整して行うよう促す。 ・適宜褒める。	・iPad やGoProで動画と写真を撮影する。
まとめ 5分	できたことの確認 次時の確認 終わりのあいさつ	知識・技能	・生徒が話を聞きやすい体勢を整える。 ・映像でできたことを確認した後、言葉かけや手添えでできた行動を再確認する。 ・適宜褒める。	

7. 本時の評価基準

観点 氏名	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A	◎『材料や道具を掴むこと、混ぜること、見ること、受け取ったり手渡したりすること』を自分ができるということを理解し、促されると実行できる。 ○『材料や道具を掴むこと、混ぜること、見ること、受け取ったり手渡したりすること』を手添えなどの支援の下で促されると実行できる。 △促されたときに、「はい」の返事や促された行動とは違うが何かしらの反応ができる。	◎道具や状況、言葉かけから何をすべきか考え・行動を選択しようにすることができる。考えたことを実行できる。 ○繰り返し行動を促されると、その行動を実行できる。 △促されたときに、「はい」の返事や促された行動とは違うが何かしらの反応ができる。	

B	<p>◎ボタンを押すことや材料を振って混ぜることを教師の言葉かけを聞いて継続できる。</p> <p>○ボタンを押すことや材料を振って混ぜることを教師の言葉かけや手添えなどの支援で継続ができる。</p> <p>△目的の活動とは違うが、覚醒し皆と行動を共にすることができる。</p>	<p>◎道具を手渡されたり、他者からの言葉かけでできることを考え、行動に移すことができる。</p> <p>○活動を拒む場合は、時間を置いたり、環境を変えることで、行動に移すことができる。</p> <p>△目的の活動とは違うが、覚醒し皆と行動を共にすることができる。</p>	
C	<p>◎○○作りの指示者として、材料や作業工程を理解し担当者に伝えることができる。</p> <p>○教師からヒントをもらいながら作業工程を伝えることができる。</p> <p>△教師の言葉をそのまま伝える。</p>	<p>◎作業の様子を見て、材料を混ぜ合わせる等を判断し、各担当者へ指示を出すことができる。</p> <p>○教師の促しによって物事を判断し担当者へ指示を出すことができる。</p> <p>△物事の判断がつかず教師の支援を待つ。</p>	